

もりぎょう やまぎょう
森業・山業創出支援総合対策事業

1 趣 旨

地球温暖化防止のための森林の整備・保全が喫緊の課題となる一方、森林を支える山村においては、地域全体での就業機会に乏しく、特に材価の低迷等により林業生産所得が厳しい状況下であり、持続的な林業経営を通じた森林整備が困難な状況になりつつある。

こうした中、山村の起業者による森林資源等を活用した新たな産業（森業・山業）の創出を支援することにより所得機会を確保し、緑の雇用担い手育成対策の研修終了者をはじめ林業従事者の定着と森林の整備・保全を助長し、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るものとする。

2 事業内容

(1) ビジネスプラン募集・選定

全国各地から森業・山業のビジネスプランの募集と第三者委員会による選定。

(2) 情報提供・相談窓口開設・マッチング

①情報提供

新たな森林経営に関する知識や技術を提供するためのプログラム開発等

②相談窓口の開設

起業に当たっての基礎的知識・ノウハウ等に関する相談への対応

③マッチング

選定されたビジネスプランに対する民間法人等からの支援を斡旋

(3) アドバイザー派遣

事業運営に必要な経営、法律等の専門家（アドバイザー）の派遣

(4) 事業運営支援

①事業計画策定

地方自治体や異業種との協議会の設置、マーケティング等の経費の支援

②実証的事業運営

事業の試験運用・製品試作、モニター調査、追加改良

<想定される事例>

- ①森林や山村の景観、自然、営造物を活用したツーリズム
 - ・ ツリークライミング体験
 - ・ 健康増進のための森林内のウォーキング
- ②森林から産出される木材、山野草等を活用した商品の開発、生産、販売
 - ・ 樹木抽出成分による薬剤
 - ・ 廃材による液化燃料
- ③森林・山村に伝承される知恵や技を活用したサービス
 - ・ 森の名人の技を伝承する森林体験
 - ・ 山村生活の知恵に関する出張講演

- 3 事業実施主体 (1)、(2)②③、(3)、(4) (社) 日本森林技術協会
(2)① (社) 全国林業改良普及協会
- 4 補助率 (1)、(2) 定額
(3)、(4) 定額 (1 / 2相当額)
- 5 事業実施期間 平成17年度～平成21年度 (5年間)
- 6 平成18年度概算決定額 134,852 (150,000) 千円

(担当：林野庁計画課、研究普及課)